

# チップパシユレツダーを貸し出す考えは

## 当面、機械だけの貸し出しはしない

質問 チップパシユレツダー

を各集落へ貸し出す考えは。県道・町道上に張り出して支障となつている枝等、この機械を利用して対応する考えは。

面いたしません。

支障木については、県道は県で、町道は町および区で対応しています。

○その他の質問事項  
・清泉荘公園について

答弁 チップパシユレツダー

の貸し出しについては、集落で作業場所を確保していたければ、出張作業をいたします。

作業は危険を伴いますので、町で委託したオペレーターが作業を行います。安全面の問題から、機械だけの貸し出しは当

理となります。

近年、支障木についての苦情が多く寄せられますが、多くは民地のものなので、ごさぎりなどをお願ひしながら、集落から要望があれば、チップパシユレツダーを活用していきます。



平出英夫 議員



活躍する「チップパシユレツダー」

# ごみ減量の具体的な方策は

## 減量には、町民の協力が不可欠です

質問 ごみの減量を考える取り組みについて、具体的な方策は。平成22年までに、一般家庭分と事業所系から排出するごみの量を、目標の20%まで削減できる見通しは。

答弁 町の一般等廃棄物減量等推進審議会では、諏訪南ごみ減量推進会議の提言を受け、容器包装プラスチックの分別収集、可燃ごみの紙類資源化、生ごみの減量と資源化について審議していま

す。

この結果を受けて町の方針を決め、集落説明会を行い、来年4月1日実施に向けて徹底を図ります。

ごみの量についての削減数値目標が設定されて

いますが、灰溶融炉建設においては、分別の徹底、ごみの減量により、可燃ごみを25%削減という計画に変更し、ごみ処理能力を20トンから15トンに縮小しています。

しかし、現状では家庭系可燃ごみは、年々微増しており、目標達成には、町民の皆さんの協力が不可欠です。

○その他の質問事項  
・防災面の安全・安心のまちづくりについて



小林市子 議員